

大阪港に入港した船が火災や海難事故を起こしたときに、消防艇と潜水隊が活躍します。



大阪市消防艇「まいしま」

大阪港での密輸・密入国などの犯罪を防ぐため、昼も夜も警戒活動をしています。



#### ④ 港で船の行き来を助ける仕事

24時間、たくさんの船が行き来する港に、大きな船が出入りするのとはとてもむずかしいことで、危険をともないます。そこで大型船をゆっくりおしたり引いたりするタグボートが活躍します。

また、大阪港のことをよく知っていて、船を操縦する技術も持っている水先案内人（パイロット）が、港の入口から船に乗りこみ、船長さんの横について大型船の安全な航行を助けています。

大阪港にはほかにも、たくさんの人がいろいろな仕事をしています。ひとみさんは「港や船や市民生活の安全を守りもっと豊かにするために、たくさんの人が工夫や努力をしている。」とメモに書きました。



タグボート。小さいが力の強い船



活躍する水先案内人

#### ● 港での航行の約束

船は右側通行を守るものが原則になっている。また大阪港には、信号所があって船の出港・入港について信号を出して交通整理をしている。

#### ● 密輸

税関を通さずに、不法に外国の品物を国内に持ちこむこと。

#### ● 密漁

魚をとってはいけない海で魚をとること。

